

## 灯油利便性向上の検討・開発(2015-16年度:小型容器と自動注油機)

小型ポリタンク(4L, 5L)が、運搬容器として消防法に適合し、消費者アンケートにより18Lポリタンクより扱い易いという声が8割あり、購入回数が増えても、持ち運びの容易さを優先する人が半数近くいることを確認。

小型ポリタンクに定量給油する自動注油機が計量法・消防法に適合し、消費者アンケートで95%以上が使用上問題ないことを確認。

### 課題

自動注油機は、SS過疎地等でコンビニ・一般店舗等で使用する場合には、取扱量等法令、地方消防による個別指導に適合することが必要。



5L容器と18L容器



灯油自動注油機

# (参考1)カートリッジタンクへの直接給油・販売モデル調査(2013年度)

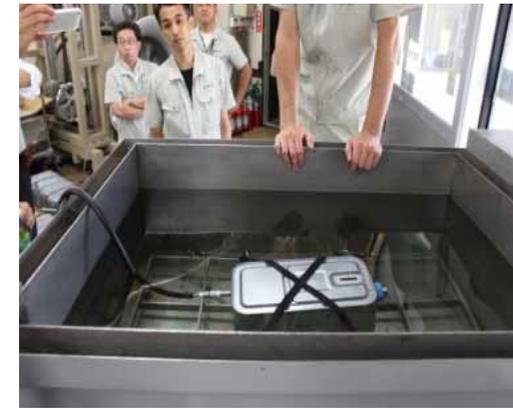
灯油ファンヒーターのカートリッジタンクが灯油運搬容器の技術基準に適合し、SSでの直接給油にも問題が無いことを確認。消費者アンケートで、9割がポリタンクから暖房機への給油時の不満や手間が解消されたと回答を得た。



容器落下試験



積み重ね試験



気密試験

1. カートリッジタンクに直接給油



2. 専用ケースで運搬



Cタンクと専用ケース



石油連盟 | 石油の力。  
<http://www.paj.gr.jp/>

## (参考1)カートリッジタンクへの直接給油・販売モデル調査(2013年度)

### 課題

- カートリッジタンクの灯油運搬用容器としての利用には、消防法上の危険物運搬用容器の技術基準への適合が必要。適合の確認は、原則事業者による自己認証でよいが、地方消防により判断が不統一であるのが現実。
- 広く展開するためには、国連規格またはKHKの性能認証を得ることが望ましい。(消防庁)
- SSでの少量容器への注油作業効率化のためのデバイスの開発等
- カートリッジタンクの運搬用容器利用に係る機器メーカーの理解と廉価な価格設定。
- 灯油販売事業者・消費者への啓発等。

## (参考2) PETボトル等小型容器による販売可能性の検討(2014年度)

灯油の少量販売(軽量化)、SS過疎地対応も想定した灯油流通経路の多様化の可能性を検討するため、PETボトル(2L,4L)、パウチ(1L,3L)について、PETボトルが消防法の運搬容器の試験をクリアすること、パウチは部分的な強度の補強が必要であることを確認。

またPETボトルは紫外線による劣化が見られるが、紫外線防止フィルムにより対応可能であり、パウチについては紫外線の影響を受けないことを確認。

### 課題

- PETボトルは1本当たり50円～100円、充填費用が約50円ほど。(通常より割高)
- 飲料用容器の転用は不可。新規製造ラインが必要。
- 製造・重点・搬送・販売・リサイクルの流通・販売サイクルの構築等



PETボトル



パウチ



石油連盟 | 石油の力。

<http://www.paj.gr.jp/>